



自由工房

自由工房とは

自由工房は、「ものづくり」に関心を持つ学生の課外活動の場所です。学年や学科に関わらず誰でも参加できます。二つのキャンパスにそれぞれ部屋があり、ロボット関係の色々なプロジェクトが活動しています(下記参照)。初めて参加する人は、それらのプロジェクトのいずれかに所属することになります。

部屋には各プロジェクトのために、様々な設計や加工ができる設備が整っており、専従の技術スタッフからいつでもアドバイスを受けることができます。



組織

運営委員会

委員長

升谷 保博 (総合情報学部 メディアコンピュータシステム学科)

委員

森 幸治 (工学部 機械工学科)

登尾 啓史 (総合情報学部 メディアコンピュータシステム学科)

吉田 晴行 (工学部 機械工学科)

入部 正継 (工学部 電子機械工学科)

室長

高木 明

技術講師

三上 典秀

尾崎 幸敏 (大阪府立今宮工科高等学校)

中岡 進 (和歌山県立紀北工業高等学校)

瀬尾 文隆 (香川県立三豊工業高等学校)

石井 清孝 (石川県立工業高等学校)

溝上 洋三 (X線技術研究所)

松永 芳史 (大分県立国東高等学校)

中村 雄一 (富山県立大沢野工業高等学校)

上北 彰 ((株)ディスコ)

門脇 通弘 (島根県立松江工業高等学校)

木嶋 泰道 (港湾職業能力開発短期大学校)

本行 圭介 (香川県立三豊工業高等学校)

徳永 敏久 (パナソニックコミュニケーションズ(株))



活動場所

寝屋川キャンパス

実験センター5階 Y-502号室

四條畷キャンパス

2号館3階 2-301号室

連絡先

電話 072-824-1131 (代) 内線3508

FAX 072-820-3831

Email jiyukobo@isc.osakac.ac.jp

Web <http://jiyukobo-oecu.jp/>



プロジェクトの紹介 (2009年4月現在)

レスキューロボットコンテスト

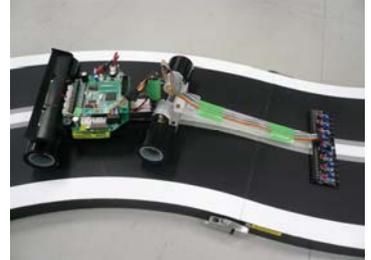
「レスキューロボットコンテスト」(レスコン)は、震災時の救助活動をテーマとしたロボットコンテストです。1/6スケールの被災地の模型の中から遠隔操縦のロボットで人間に見立てた人形を救助します。2006年の競技会では、最高ポイントを獲得して「ベストポイント賞」を受賞。2007年の競技会では、総合ポイント2位で「ベストロボット賞」を受賞。2008年の競技会では、総合ポイント3位で「消防庁長官賞」を受賞しました。(寝屋川キャンパスで実施)



写真提供:レスキューロボットコンテスト実行委員会

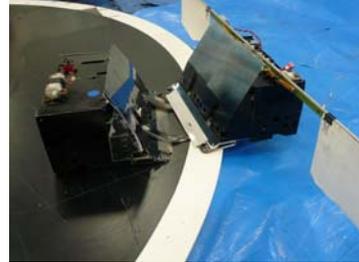
マイコンカーラリー

「マイコンカーラリー(MCR)」とは、マイコン(CPU)ボードを搭載し、センサでコースを読み取って自律走行する手作りのマシンで規定のコースを完走しスピードを競う競技です。このようなマシンを1人1台製作し、9月から始まる地区大会を勝ち抜き、1月に北海道で行われる全国大会へ出場することを目指します。2008年の全国大会には学生1名が、2009年の全国大会には学生2名が、出場しました。(寝屋川キャンパスで実施)



ロボット相撲

「ロボット相撲」は、ロボットによる「力と技の対決」「力と力の対決」の格闘技です。ロボットの20cm×20cmの小さな体の中には、センサやモータ、コンピュータが詰め込まれ、土俵の中を自分で判断して動き、相手を押し出せば勝ちです。このようなロボットを1人1台製作し、9月から始まる地区大会を勝ち抜き、12月に東京の国技館で行われる「全日本ロボット相撲大会」を目指します。2006年の全国大会には学生2名が、職員1名が6位入賞。2007年の全国大会には学生2名、職員1名が、2008年の全国大会には学生1名、職員1名が、出場しました。(当面、寝屋川キャンパスで実施)



ヒト型ロボット

ヒト型ロボットを製作し、ロボット格闘技大会などに出演します。2007年4月に四條畷キャンパスに専用の工房を開設し、技術講師を迎えて本格的に活動を始めました。2007年に行われた「ロボゴング6」では3位に入賞しました。2008年は大阪で行われる大会に出場、各種イベントにも出展しました。(四條畷キャンパスで実施)



ロボットづくり教室

小中高生を対象とした「ロボットづくり教室」を開催し、ロボットを通じて理科やものづくりの楽しさや大切さを子供達へ伝える活動を行います。
※現在、メンバがないため活動を中断しています。



自由工房の合言葉

ロボットをつくる・仲間をつくる・未来をつくる